

感染症発生報告の対象となる疾患一覧

	疾患名	出席停止期間 ※出席停止期間はあくまで目安です。状況に応じて変更する場合がありますので、主治医や報告時の指示に従ってください	
		理工学系の学生 医歯学系で臨床実習が「ない」学生	医歯学系で臨床実習が「ある」学生 ※実習は、発症後10日以内に予定されているもの
第1種	エボラ出血熱など	治癒するまで	左記
第2種	新型コロナウイルス感染症	発症した後 5 日を経過し、かつ症状が軽快した後 1 日を経過するまで	左記
	インフルエンザ	発症した後 5 日を経過し、かつ、解熱した後 2 日を経過するまで	左記
	百日咳	特有な咳が消失するまで、または、5 日間の適正な抗菌薬による治療が終了するまで	左記
	麻疹	解熱後 3 日経過するまで	発疹が出現した日をゼロ日として、4日を経過するまで ただし免疫不全の背景があれば症状が消失するまで
	流行性耳下腺炎	耳下腺、顎下腺または舌下腺の腫脹が発現した後 5 日を経過し、かつ全身状態が良好となるまで	左記
	風疹	発疹が消失するまで	皮疹が出現した日をゼロ日として7日を経過するまで
	水痘 播種性帯状疱疹 (2枝支配領域以上)	すべての発疹が痂皮化するまで	左記
	咽頭結膜熱	主要症状が消失して 2 日経過するまで	左記
	結核	感染のおそれがないと認められるまで	左記
	髄膜炎菌性髄膜炎	感染のおそれがないと認められるまで	左記
	第3種	コレラ	治癒するまで
細菌性赤痢		治癒するまで	左記
腸管出血性大腸菌感染症		感染のおそれがないと認められるまで	左記
腸チフス		治癒するまで	左記
パラチフス		治癒するまで	左記
流行性角結膜炎		感染のおそれがないと認められるまで	左記
急性出血性結膜炎		感染のおそれがないと認められるまで	左記
溶連菌感染症		適切な抗菌薬による治療開始後 24 時間経過するまで	左記
A型肝炎		肝機能が正常化するまで	左記
B型肝炎		急性肝炎の極期を過ぎるまで	左記
C型肝炎		急性肝炎の極期を過ぎるまで	左記
手足口病		症状が回復するまで	左記
ヘルパンギーナ		症状が回復するまで	左記
無菌性髄膜炎(エンテロウイルスによる)		症状が回復するまで	左記
伝染性紅斑(りんご病)		症状が回復するまで	左記

	疾患名	出席停止期間 ※出席停止期間はあくまで目安です。状況に応じて変更する場合がありますので、主治医や報告時の指示に従ってください	
		理工学系の学生 医歯学系で臨床実習が「ない」学生	医歯学系で臨床実習が「ある」学生 ※実習は、発症後10日以内に予定されているもの
第3種	ロタウイルス感染症	下痢、嘔吐が消失するまで	下痢、嘔吐が消失するまで
	ノロウイルス感染症	下痢、嘔吐が消失するまで	下痢、嘔吐が消失するまで
	サルモネラ感染症	下痢、嘔吐が消失するまで	左記
	カンピロバクター感染症	下痢、嘔吐が消失した後	左記
	肺炎マイコプラズマ感染症	症状が回復するまで	左記
	インフルエンザ菌b型感染症	症状が回復するまで	左記
	肺炎球菌感染症	症状が回復するまで	左記
	RSウイルス感染症	症状が回復するまで	左記
	ヒトメタニューモウイルス感染症	症状が回復するまで	左記
	ライノウイルス感染症	症状が回復するまで	左記
	パラインフルエンザウイルス感染症	症状が回復するまで	左記
	エンテロウイルスD68感染症	症状が回復するまで	左記
	EBウイルス感染症	症状が回復するまで	左記
	サイトメガロウイルス感染症	症状が回復するまで	左記
	単純ヘルペスウイルス感染症	歯肉口内炎のみであればマスクをして可	左記
	帯状疱疹 (播種性ではなく神経1枝支配領域のもの)	病変部が被覆されていれば登校して可	罹患者が免疫不全ではなく、病変部が被膜可能な場合は、登校可能 上記が困難な場合は、すべての水疱が痂皮化するまで
	日本脳炎	症状が回復するまで	左記
	突発性発疹	症状が回復するまで	左記
	ポツリヌス症	症状が回復するまで	左記
	ネコひっかき病	症状が回復するまで	左記
	破傷風	症状が回復するまで	左記
	デング熱	症状が回復するまで	左記
	ジカウイルス感染症	症状が回復するまで	左記
	重症熱性血小板減少症候群	症状が回復するまで	左記
	アタマジラミ症	制限はない	左記
	伝染性軟属腫(水いぼ)	制限はない	左記
	伝染性膿痂疹(とびひ)	制限はない	左記
疥癬	治療を開始するまで	治療後、皮膚科でダニが確認できないと診断されるまで	
蟻虫症	制限はない	左記	
ヒトパピローマウイルス感染症	制限はない	左記	
ヒトT細胞白血病ウイルス1型感染症	制限はない	左記	
ヒト免疫不全ウイルス感染症	制限はない	左記	